

# 教科「保健体育」

## 科目「体育」

2 年（文系・理系）

単位数	2
担当者	菅井麻紀、佐藤政志、三ヶ山正樹、 渋谷宗馬、古川沙耶香
教科書	大修館書店 現代高等保健体育
副教材等	大修館書店 ステップアップ高校スポーツ

### 【1】 科目の目標

3年間を通して、生徒が自己の能力に応じて運動技能を高め、運動を得意にしていくことを目指しながら、体の調子を整えたり仲間と交流することの大切さを知り、公正、協力、責任等の社会的態度の育成を図るとともに、現在及び将来において運動を継続的に実践し、明るく豊かで活力ある生活を営む資質や能力を育てる。

### 【2】 科目の内容と進め方

1 学期〔体育理論、体づくり運動〕〔選択Ⅰ球技（バレーボール・ソフトボール）、選択Ⅱ（器械運動・陸上競技・水泳）〕

2 学期〔体育理論、体づくり運動〕〔選択Ⅲ球技（サッカー・バスケットボール）、選択Ⅳ球技（バドミントン・卓球）〕

3 学期〔体育理論、創作ダンス〕

生徒が主体的に創意工夫しながら取り組めるように、グループ学習を積極的に導入します。技能習得充実のために個人の能力に応じた個別指導を実践します。

また、各学期に体育理論の授業を行います。

### 【3】 学習形態

選択制授業が中心です。

### 【4】 学習上の留意点

- ・服装を整え、一人一人が健康と安全に留意して授業に臨むようにしよう。
- ・主体的に授業に参加し、他者と協力し、責任をもって、公正な態度で実践しよう。
- ・運動技能を高めるために、運動の仕組みを深く理解し、生涯にわたって運動を実践できるようにしよう。
- ・2年次は技能を高めるために、練習方法、ルール熟知、ゲームの運営、審判法をしっかりと理解してほしい。

### 【5】 評価の方法と評価の観点

#### ① 評価の観点

関心・意欲・態度、思考・判断、運動の技能、知識・理解の4観点で評価する。

#### ② 評価の方法

評価の方法	各領域に共通して、以下の観点を踏まえ技能テスト、学習態度、出席状況、体育理論テスト等から総合的に評価します。	
評価の観点	関心・意欲・態度	リーダーの育成、協力体制の確立、グループ意識の確立
	思考・判断	各技能段階を把握し健康や安全管理への配慮と合理的に運営するための役割を全うしている。
	運動の技能	各段階に応じた基本技術を確実に身に付け、自己の課題を意識し練習できる。
	知識・理解	ルール、審判法、試合の運営、練習方法等を習得している。

### 【6】 その他